
平成21年度(第53期)決算説明資料

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)



平成22年6月25日

<目次>

1. 決算の概況

(1) 損益計算書、貸借対照表の概略	2
(2) 事業の取り組み内容について	3
(3) 売上高および営業利益の推移	4
(4) 品目別売上高の推移	5
(5) 収益関連指標	6
(6) 総資産・純資産	7
(7) 配当政策	8
(8) 利益配分の方針	8

2. 今後の取り組みについて

(1) 経営環境	9
(2) 諸施策	10
(3) 業績の見通し	11

1. 決算の概況

(1) 損益計算書、貸借対照表の概略

(単位:百万円)

	連 結			個 別		
	H21/3期	H22/3期	前期比(%)	H21/3期	H22/3期	前期比(%)
売 上 高	11,231	8,360	74.4	9,719	7,571	77.9
営 業 利 益	326	167	-	144	2	-
経 常 利 益	418	77	-	143	58	-
当 期 純 利 益	495	289	-	212	123	-

(単位:百万円)

	連 結			個 別		
	H21/3期	H22/3期	増減	H21/3期	H22/3期	増減
資 産	9,503	8,575	927	8,807	8,167	640
負 債	4,123	3,459	663	3,791	3,260	531
純 資 産	5,379	5,116	263	5,015	4,906	108
総 資 産	9,503	8,575	927	8,807	8,167	640

(2) 事業の取り組み内容について

・ 営業

- ・ 工作機械用モータなど落ち込みの激しい市場をカバーする為、比較的市場の落ち込みが少ないポンプの販売促進を行う。



・ 製造、購買

- ・ 子会社の生産拠点の統廃合を進めるとともに、グループ内で重複している加工工程を見直し集約することで生産性を高める。
- ・ 急激な受注の減少にあわせ、従業員の一時帰休を実施

・ 研究開発

- ・ 環境にやさしい省エネ、低騒音の製品を開発
(小型・低消費電力となるDC(直流)ポンプ及びモータの開発)
- ・ 新規用途に対応した製品開発(ハイブリッドシヨベルの電装冷却用ポンプ他)

・ その他

- ・ 早期退職優遇制度の実施により人件費の圧縮を進めるとともに、生産体制の再構築を行う。

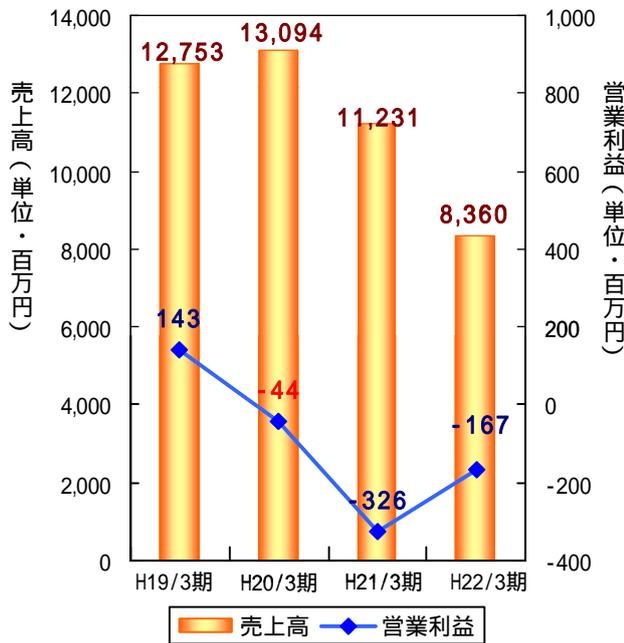
・ 特別要因

- ・ 早期退職優遇制度に伴う特別加算金および再就職支援費用を特別損失にて計上

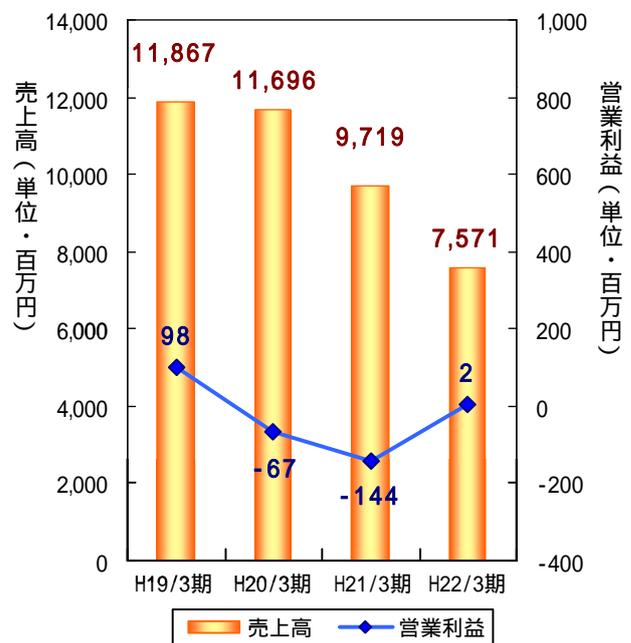
(3) 売上高および営業利益の推移

- ・第2四半期までの売上高は、前年同期比65%と大きく減少したが、第3四半期以降の売上高は徐々に回復
- ・営業利益においては、一時帰休や早期退職優遇制度を実施し、人件費等の圧縮を進めてきたが、大幅な受注減少による付加価値の落ち込みを補えず、連結では営業損失となる。

【連結】



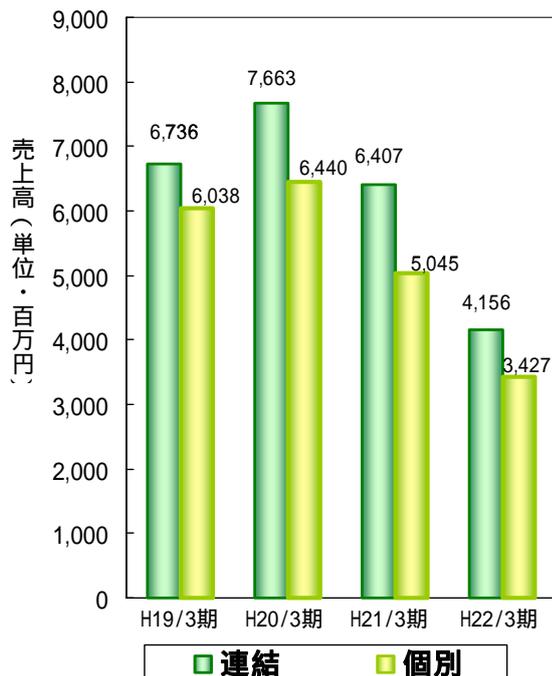
【個別】



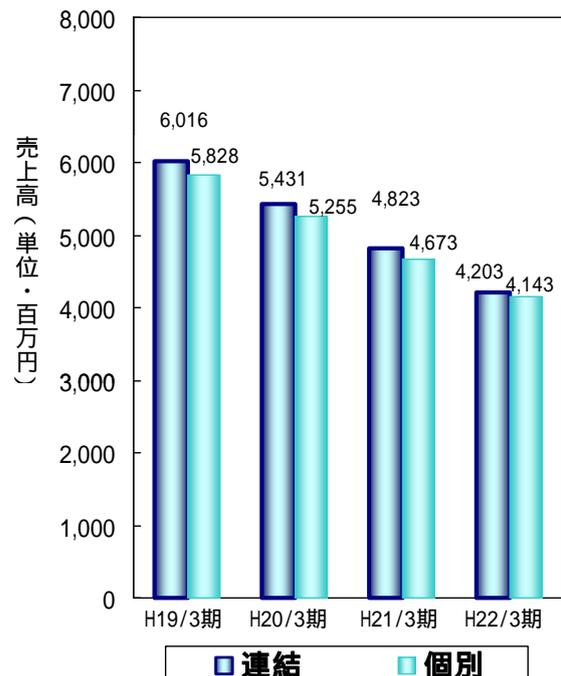
(4) 品目別売上高の推移

- ・モータでは、パッケージエアコン用モータや工作機械用モータが引き続き大幅に減少
- ・ポンプにおいては、半導体製造装置用ポンプが今年に入り徐々に受注は回復傾向となったが、住宅設備用ポンプなどでは市場の冷え込みが続き減少

【モータ】



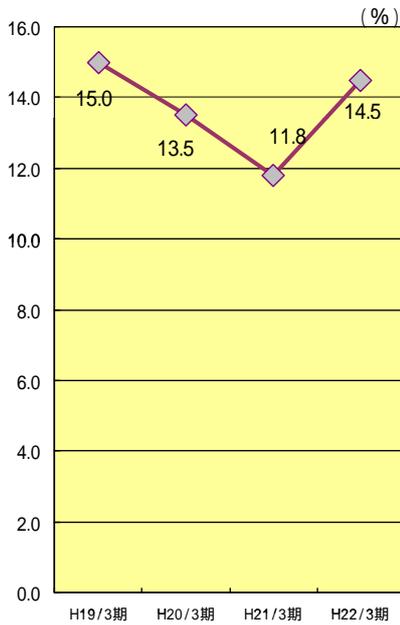
【ポンプ】



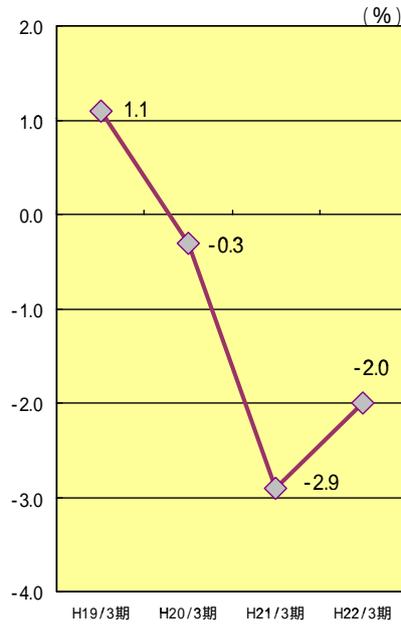
(5) 収益関連指標(連結)

・第3四半期以降では、早期退職優遇制度の実施により、人件費の圧縮を図ったことで利益率の改善となる。

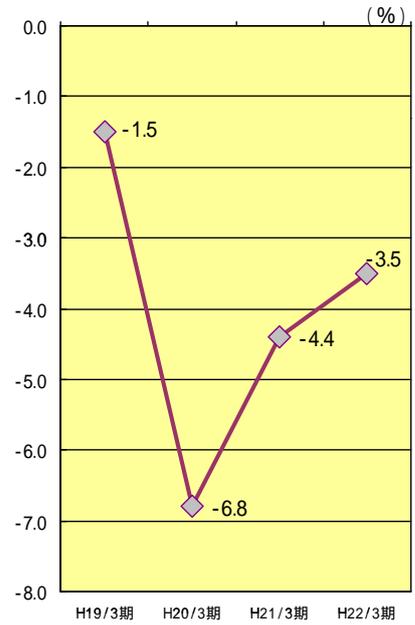
売上総利益(率)



営業利益(率)



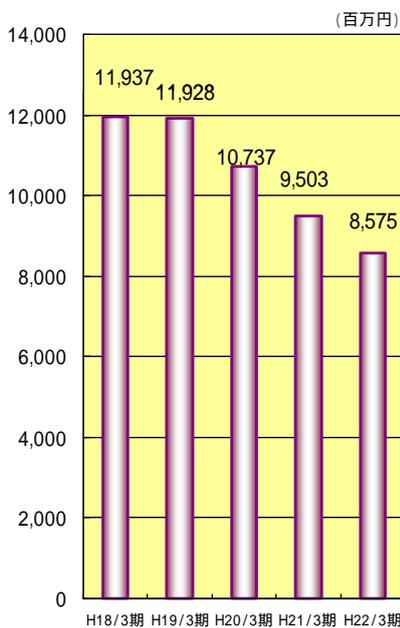
当期純利益(率)



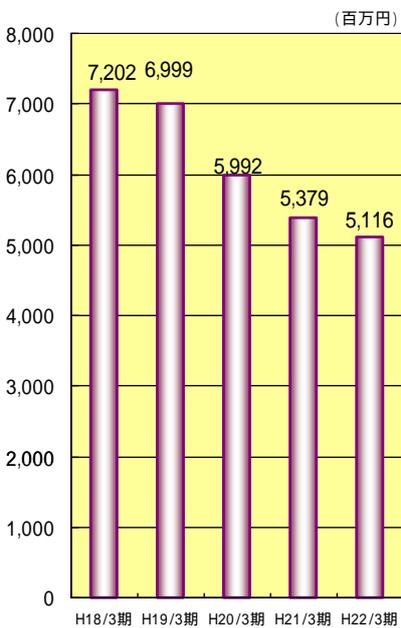
(6) 総資産・純資産(連結)

- ・受注減少により流動資産の受取手形及び売掛金が減
- ・早期退職者への退職金の支払いにより現金及び預金が減、また退職給付引当金が減
- ・当期純損失の計上により利益剰余金の減

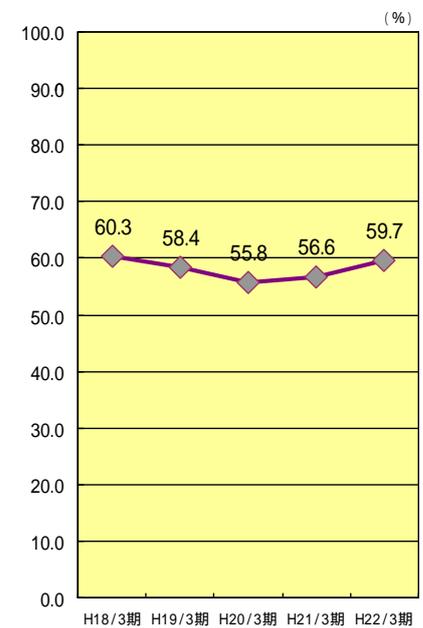
総資産



純資産



自己資本比率



(7) 配当政策

利益配分については、株主および一般投資家への企業責任の重大性を十分に認識し、業績の伸長を勘案し極力配当性向を高め、かつ維持しながら弾力的な利益還元を行うとともに収益力の向上を目指し、内部留保金についても有効投資に活用し、収益向上に取り組んでいます。

(8) 利益配分の方針

平成22年3月期の配当については、誠に遺憾ながら無配を決定しています。次期の配当については、現状の業績等を考慮して1株につき年2円50銭を予定しております。

今後につきましては、業績を向上させ安定的な配当を行うように努めていきます。

配当金の推移 (円)



平成19年2月1日をもって1株につき2株の割合をもって株式分割を行っています。



2. 今後の取り組みについて

(1) 経営環境

経済状況

- ・景気は外需主導で徐々に回復するものと見込まれるが、円高やデフレ懸念が払拭されず、また鉄鋼材や非鉄金属の価格相場が上昇基調にあることから、非常に厳しい経営状況が続くものと考えられる。

業界動向

- ・家電業界では、エコポイント制度により一部で明るい兆しとなる。当社グループが関係するエアコンなどでは、ゆるやかな回復基調である。
- ・工作機械分野では、回復の兆しは見られるものの依然として低調な設備投資により厳しい状況が続く。
- ・住宅設備分野では、政府主導で導入を進めているエコキュートや太陽光発電などが堅調に推移しているが、その他の設備については、住宅着工件数の低迷により急激な回復は難しい状況である。
- ・半導体製造設備業界では、今年に入り半導体市場の活況により回復基調である。

(2) 諸施策

・ 営業

- ・ 低消費電力となるDC（直流）モータおよびポンプの拡販を行う。
- ・ 新規用途の提案で新市場を開拓していく。

・ 製造、購買

- ・ 短納期生産体制の確立を図り、販売の機会損失を減少するとともに、生産性の向上を図る。
- ・ 部材の共通化を進めるとともに、グローバルな部品調達によりコストダウンを図る。

・ 研究開発

- ・ 低消費電力のDC（直流）モータ・ポンプのシリーズ化を進め、市場のニーズに応える。

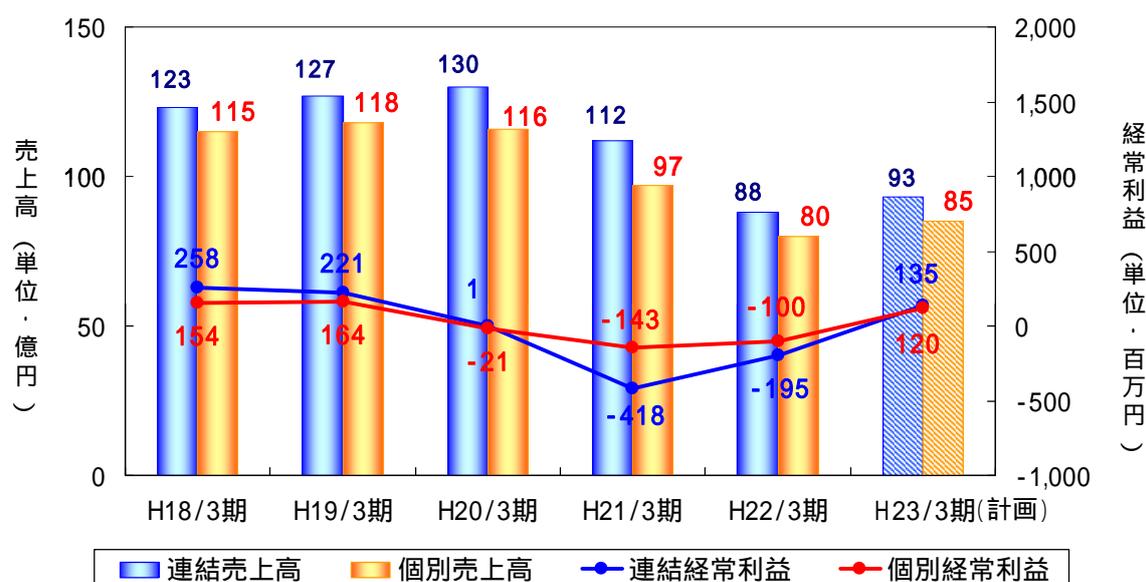
・ 品質

- ・ 製造技術を極め、均一したクオリティの製品を提供する。



(3) 業績の見通し

[売上高・経常利益のグラフ]



売上高：既存製品に加え、新製品となるDCモータや水中ポンプの売上により、増収を見込む。
経常利益：人員削減による費用抑制やコストダウンにより、利益確保を見込む。

おことわり

この資料に掲載しております将来の計画や予想数値については、現在（平成22年6月）入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであり、実績の業績などは、今後の様々な条件・要素によりここに掲載する内容と異なる場合がございます。

なお、この資料は、その実績を確約および保証するものではありませんのでご了承ください。

お問い合わせ先

三相電機株式会社
統括管理部 経理課 経営企画係
〒671-2288
兵庫県姫路市青山北一丁目1番1号
TEL 079-266-1200
FAX 079-266-1206
E-mail sanso@sanso-elec.co.jp